

# 第10回銀華文学賞発表

## 銀華文学賞

銀華文学賞はおかげさまで一〇回目を迎えることができました。今回もまた日本全国およびアメリカ、インド、フランスなど海外からの作品を含め、四一九篇という多数の御応募をいただきました。心から御礼申し上げます。

予選選考を経た作品の中から、大高雅博・八覚正大・小沢美智恵・小浜清志・都築隆広・五十嵐勉の選考委員による厳正な審査の結果、以下の通り受賞作が決定いたしましたので、ここに発表させていただきます。昨年と同様歴史小説賞も継続させていただきました。

また御遺族の御厚意により河林満賞も併せて選出させていただきますました。

誌面の都合により、奨励賞などの作品は五〇号以降に順次掲載させていただきます。

第一〇回銀華文学賞授賞式・祝賀会および懇親会は、二〇一四年一月二十五日(土曜日)午後二時より東京の大田区民プラザにて「文芸思潮」エッセイ賞/現代詩賞/イラスト・漫画賞といっしょに行なう予定です。どなたでも御参加可能ですので、どうぞお誘いの上御来場ください。

第一一回銀華文学賞も本年とほぼ同じ要領で行ないます。皆様の御応募を心からお待ちしております。

※予選選考に当たり、小林広一氏、中野睦夫氏に多大な御協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

### 優秀賞

「1969年・理英子と」

竹内 清 (愛知県刈谷市)

「雨の愛子」 豊岡靖子 (京都府長岡京市)

「負の気配」 渋谷江津子 (青森県弘前市)

「沖縄の叔母さん」

佐藤多美子 (鳥取県米子市)

### 奨励賞

「幻想が生の実在を」 佐山広平 (愛知県春日井市)

「白富士病院」 きなりかず (長野県松本市)

「熾火」 椿山 滋 (大分県中津市)

「父はひとりで」 國方 學 (愛知県名古屋市中区)

「さらさら」とけい」 出井孝子 (滋賀県長浜市)

「獣魂碑」 美里あきら (大阪府大阪市)

### 当選

「加熱炉」 波佐間義之 (福岡県中間市)

### 特別賞

「凍裂」 高岡啓次郎 (北海道苫小牧市)

### 河林満賞

「梱包の方法」 室町眞 (東京都杉並区)

### 歴史小説特別賞

「鎮遠自沈ならず」

吉田満春 (千葉県山武市)

「平和公園の叢のかげで」 梶川洋一郎 (広島県広島市)

「ある遺書」 原石寛 (神奈川県横須賀市)

「眼科病室の患者たち」 前岡光明 (東京都町田市)

「罪」 土岐田耕 (大阪府豊中市)

### 歴史小説奨励賞

「アリラン恋歌」 北見 舜 (大阪府堺市)

「栗栖野」 北条かおる (京都府京都市)

「東雲白むまで」 伊野里健 (千葉県白井市)

「水の中の笑い声」 木山省二 (東京都板橋区)



佳作

- |             |        |                |          |
|-------------|--------|----------------|----------|
| 「GUITAR」    | 戸澤洋二   | 「舎似道」          | 吉田宏子     |
| 「折り目」       | 河津四方   | 「二十日鼠も少年も」     | 三村榮一郎    |
| 「彼岸花」       | 宇和静樹   | 「ワンチャン・パトロール」  | 清水耕一     |
| 「『安芸書林』にて」  | 木下訓成   | 「未必の同意」        | 成瀬健太郎    |
| 「秋桜の咲く場所」   | 鴻江美和子  | 「ひとつの風になれ」     | 古川サト     |
| 「われらしゃべり隊」  | 大隅 洋   | 「二人旅」          | 飯島もとめ    |
| 「レモンの渴き」    | 坂上弘之   | 「合作」           | 神通明美     |
| 「蜜柑」        | 来の宮あんず | 「寒夜」           | 星野 透     |
| 「鱗」         | 福野 梟   | 「もちろんっその通りですが」 | 小野友貴枝    |
| 「スコール」      | 古林邦和   | 「動かない海」        | 関野みち子    |
| 「夢先案内人」     | 冴樹悠也   | 「保釈」           | 窪川龍二     |
| 「闖入者」       | 本松秀茂   | 「草庵の恋」         | 牧 作樹     |
| 「あの夏のあの日が」  | 山崎文男   | 「父の日記」         | 中川一之     |
| 「ソウルで姉妹は見た」 | 栗山佳子   | 「結界」           | 川津圭介     |
| 「宇治しぐれ」     | 小川ナツ   | 「ぬけがら」         | 王峰       |
| 「生命の芽」      | 上田 勝   | 「遅い日没」         | 小林理樹     |
| 「何故の木」      | 横井直高   | 「いのちの記憶」       | 国方 勲     |
| 「紅雨」        | 井 美和子  | 「手首の記憶」        | 木村令胡     |
|             |        | 「かたくりの花」       | 宮下ゆう希    |
|             |        | 「焼かれる処女嫁」      | 李耶シャンカール |

歴史小説賞佳作

- |           |        |
|-----------|--------|
| 「遣唐大使 道真」 | 杉本敬治   |
| 「山梨の花」    | 大森耀平   |
| 「上山宿始末」   | 小笠原 新  |
| 「おそらく」    | 谷 光洋   |
| 「月照に会いたい」 | 興膳克彦   |
| 「日米和親条約」  | 白井 康   |
| 「永代橋異聞」   | 中川ひぐらし |
| 「黒雲の天空」   | 笠置英昭   |
| 「遊び人の恋」   | 小竹康二   |
| 「太閤秀吉を討て」 | 春藤 弦   |
| 「芙蓉之間の忠臣」 | 久保協一   |

童話賞佳作

- 「イヤーチャップマンの小さな靴」 大川内聖一  
 「シューメーカー 靴の修繕やさん」 いまだまりこ

- 「二つの顔」 蘭 藍子  
「磯」 岩井延次郎  
「キー・ウエスト」 渡邊雅人  
「斜陽の訪れ」 葛岡昭男  
「夫婦にて候」 高杉治憲  
「制服」 筑紫 茜  
「満天の星空が見たい」 大槻武治  
「山鳩の聞き傲し」 大倉克己  
「光楽寺」 藤川六十一  
「整理戦線異状なし」 井上理博  
「天売島の見合い」 田端祥子  
「いまは恋しい、ケイという女」 佐山雄次  
「カボチャ極楽」 喜多文秀  
「父消える」 馬込太郎  
「蓮城橋」 宮川英子  
「胸の洞」 丸山 史  
「邂逅」 天保英雅  
「フェンスのない屋上」 大江純子  
「歌うテネシーのじゅんちゃん」 中川ガバチャ  
「フリーマントルの落日」 安良川健介  
「切り火」 鈴木無一  
「クローズド マインド」 長沼宏之  
「夜光虫」 宮本辰夫  
「一九七四年、或る画像」 マツイ アキラ  
「初代国鉄総裁」 ヒミ子  
「歩いてくる人」 柿沢正志

- 「消えた池」 森 幸夫  
「穴のあいたボートをください」 くれき さい  
「生き物たちの宴」 鎖藤千鶴  
「おかえり」 佐藤由美子  
「マテリアル・ガールズ」 悠希マイコ  
「崖下の夢」 関屋 智  
「妄想の淵」 柳澤 進  
「遺された絵」 折口 真  
「癒された病」 細谷 清  
「タグ」 大島龍彦  
「思慕」 磯部 彰  
「漂流」 藤堂勝汰  
「私たちの罪」 木元智子  
「ローマ人顔の友人」 黒田直隆  
「三年後」 渋谷史恵  
「軍服をマントにかえた男」 ただえみこ  
「紅い蓮」 林 貞行  
「今が旅立ちのとき」 山下一子  
「夕映えの刻」 三村雅子  
「氷結の夜空に舞う」 秋山よしひさ  
「雨乞い」 藤代淑子  
「新しい正義・認知症」 黒沢良子  
「山田寺からの手紙」 高松洋子  
「ごめんね」 立花あゆみ  
「たそがれにかえす」 多紀祥子  
「その男ZUMBAを踊る」 乾 達也